

【研究概要】

研究課題名：B型肝炎ウイルスポリメラーゼの立体構造解明と構造を基盤とした創薬研究

研究代表者：大崎 恵理子（医学系研究科）

B型肝炎ウイルス（HBV）は世界最大級のウイルス感染症であるにもかかわらず、治療薬は核酸アナログとインターフェロンに限られる。本研究ではウイルスゲノム増殖に必須のポリメラーゼの逆転写酵素（RT）ドメインの高純度精製および活性測定系を用いたスクリーニングにより、新たな候補阻害剤を見出した。また、RTの結晶化に世界で初めて成功し、結晶構造解析により一部のモデル化に成功した。HBVポリメラーゼの立体構造が明らかになれば、構造を基盤とした阻害剤の開発に寄与することができると期待される。